

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2001年(平成13年)2月15日 No.1184

## 目次

ロシア石油大型プロジェクト②	坂口 泉 1
CIS諸国通貨の為替レート	11
ルーマニア 旧共産党政権が復活	12
セルビア共和国 非共産政権が発足	12

## ロシア石油大型プロジェクト(上流、パイプライン篇)②

はじめに 前回に引き続き、今回は「ロシア石油大型プロジェクト」というレポートの2回目をご紹介します。

### (2) クラスノヤルスク地方の主要プロジェクト

クラスノヤルスク地方では、約50年前より、石油ガス鉱床の探査作業が開始され、これまで約20以上の石油・ガス鉱床が発見されている。

クラスノヤルスク地方の鉱床のうち、エヴェンキ自治管区の鉱床は、後述する中国向け石油輸出用パイプラインの起点となると目されており、大きな注目を集めている。またタイムイル自治管区の鉱床は、つい最近までロイヤル・ダッチ・シェルが関与していたことで有名であった。

### 1) ユルブチェノ・トホムスコエ地区の鉱床

#### ①開発の経緯

ユルブチェノ・トホムスコエ地区は、エヴェンキ自治管区の南西部に所在し、ユルブチェンスコエ鉱床、テルスコ・カモフスコエ鉱床、クユムビンスコ鉱床、オモリンスキー鉱床などが賦存する。前者3つの鉱床に関しては、すでに、地下資源利用権をめぐるテンドーが実施されており、東シベリア石油会社、スラヴネフチと東部石油会社(ユコス)の企業連合、スラヴネフチが、それぞれ、地下資源利用権を所有している。

本稿では、3つの鉱床のうち、最も注目度高いユルブチェンスコ鉱床の開発をめぐる状況を紹介します。

ユルブチェンスコ鉱床は1983年に発見された。推定可採埋蔵量は、石油ガスコンデン